

大矢透

とほる

國語學者

六四士。嘉永二年十一月二十一日越後國生れ。

明治二年二月十六日歿（一八五〇—一九〇）。幼名又七郎。號水齋、萬通全石。

羽冠維新時に從軍。やう新潟節範學校卒。明治十一年文部省國語調査委員會委員となつて、在任中命を承けて般々置ひ、般々守體の歴史的研究に從事。同會廢止後ヨリ國語研究の業を續け、講師講究の分野を開拓するなど、生來の敏妙な研究に鑒み中國學十世に亘る賜賞が授けられた。

著書に『日國語源原』（明治二十二年二月）、『音圖及手稿歌考』（大正七年八月四日大日本圖書株式會社）等。

